

平成 29 年度ユネスコスクール年次報告書

1. 学校概要

学校名 広島県立三次高等学校 (※正式名称を記載)

種 別 保育園・幼稚園 小学校 小中一貫^{※注1}

中学校 中高一貫^{※注2} 高等学校

教員養成大学 専修学校, 各種学校

特別支援学校

その他 (例: 小中高一貫)

※注1 義務教育学校を含む ※注2 中等教育学校を含む

所在地 〒728-0017

広島県三次市南畑敷町155

E-mail: miyoshi-h@hiroshima-c.ed.jp

Website: http://www.miyoshi-h.hiroshima-c.ed.jp/

幼児児童生徒数 男子 254名 女子 331名 合計 585名

幼児・児童・生徒の年齢 15歳 ~ 18歳

2. 報告期間

平成29年4月～平成30年3月

※報告書提出時点～平成30年3月末までの活動は、予定(見込み)として記載ください。

3. 活動内容

※記入にあたっては、末尾の留意事項も確認ください。

(1) 活動の概要 (800字程度+活動内容を表す写真数枚)

※チェック事項1-1, 2-1に対応

本校は、120年の伝統を繋ぎながら、新しい文化の創造を目指し、ESDを以下のような学校を作り上げる機会と捉えています。

- ・探求心に溢れ、主体的な学びを基軸とする教育活動により、知性に溢れた人材を育成する学校。
- ・広い視野を持ち、他者と協働して地域社会に貢献できる、徳性の高い人材を育成する学校。
- ・歴史と伝統を継承するとともに、国際的な視野を持って新しい文化の創造をめざし果敢に挑戦する人材を育成する学校。

また本校は、ESDの実践を通して、コミュニケーション力や、議論を通じた積極性やプレゼンテーション力、そして、他者と協力する態度や進んで参加する態度の育成を目標としています。さらに、生徒たちの「知る」「考える」「伝える」「動く」というグローバル・コンピテンスを育み、身の回りの枠を超えた「つながり」を創造できる人材になることを目標として掲げています。

具体的な活動として、国際交流に係る活動及び全国短歌大会の運営や活動に関し報告します。

① 国際交流に係る活動

(1) 台湾の姉妹校との交流

平成 22 年度から、台湾の国立新竹高級中學（姉妹校）及び国立台南第一女子高級中學を修学旅行で訪問しています。事前研修や訪問を通じて、異文化理解だけでなく自国文化への理解も深まり、生徒の視野が広がっています。今年度は 12 月に国立新竹高級中學を訪問しました。

また、一日訪問や 2 週間の短期留学の形での受け入れも行いました。

(2) 海外インターンシップ研修

毎年約 10 名の希望者が日本での研修を経て、海外でのホームステイや現地高等教育機関、企業での就労見学を含むインターンシップ活動に参加しています。帰国後、生徒たちは自らの体験を校内に還元するだけでなく、地域にも広く伝える活動を積極的に行っています。今年度はカリフォルニア州のソーテル日本学院へ 5 名の生徒を派遣しました。

② 地域の伝統文化、文化伝承に係る活動

(1) 創立 120 周年記念事業 三次高校全国短歌大会 10 周年記念大会シンポジウム 実施

三次高校全国短歌大会は、アララギ派の歌人として近代短歌の礎を確立した偉大な歌人であり、本校卒業生でもある中村憲吉の功績と生誕百二十年を記念するとともに、全国の高校生の瑞々しい感性から紡がれる短歌を集め、優秀作品を表彰することを目的として始まり、今年度、記念すべき第 10 回を数えることになりました。

節目を迎えた今大会は、生徒が運営に深く関わりました。特に生徒実行委員会を組織し、式典の構成、ワークショップ、運営等について生徒自身のアイデア等を生かして準備しました。生徒が大会の実施に関わるということは、単に短歌を制作し自校が主催する大会に応募するという意味に止まらず、全国大会の準備・実施を通じて生徒自身の主体性、問題を解決する力を育むことになり、生徒にとって更に意義深いものとなりました。

(1) 地域課題探究活動（総合的な学習の時間）1～2 学年

「地域課題探究活動」は、広島版「学びの変革」アクション・プランに基づいた、課題発見・解決学習プロジェクトの一つです。この活動では、新しい価値を生み出すため、仲間と協働して三次市における課題を発見し、課題の解決を目指しました。この活動を通して、これからの社会で活躍するために必要な資質・能力、（例えば課題発見・解決能力、創造力、コミュニケーション能力等）を身に付けるべく努力しました。

今年度の具体的な活動としては、まず三次市役所等と連携し、三次市の諸分野の現状と課題についてそれぞれの担当職員から講話を聞き、知識を深めました。その後、グループで三次市が抱える課題を解決していく方法を各グループ（「①ひとづくり」「②くらしづくり」「③仕事づくり」「④環境づくり」「⑤しくみづくり」）で考え、それぞれの解決策を、ポスターを使って発表しました。さらに、生徒代表が三次市長を訪問し、意見交換会に参加しました。

① 国際交流に係る活動



(台湾の姉妹校との交流)



(米国海外インターンシップ研修)

③ 地域の伝統文化、文化伝承に係る活動



(三次高校全国短歌大会)



(10周年記念大会シンポジウム)

④ 地域課題探究活動 (総合的な学習の時間)



(ポスターセッション)



(市議会議員による講評)

(2) 活動の詳細

① 活動内容

※チェック事項 1-2, 2-1 に対応

ア. 活動分野 (複数選択可)

<input type="checkbox"/> 1. 環境	<input type="checkbox"/> 2. エネルギー	<input type="checkbox"/> 3. 防災	<input type="checkbox"/> 4. 生物多様性
<input type="checkbox"/> 5. 気候変動	<input checked="" type="checkbox"/> 6. 国際理解, 文化多様性	<input checked="" type="checkbox"/> 7. 地域の伝統文化, 文化遺産	<input type="checkbox"/> 8. 人権・平和
<input type="checkbox"/> 9. 健康・福祉	<input type="checkbox"/> 10. 食育	<input type="checkbox"/> 11. 持続可能な生産と消費	<input checked="" type="checkbox"/> 12. 貧困

<input type="checkbox"/> 13. エコパーク	<input type="checkbox"/> 14. ジオパーク	<input type="checkbox"/> 15. グローバルシチズンシップ教育 (GCED)
<input type="checkbox"/> 16. ジェンダー平等	<input type="checkbox"/> 17. その他()	

イ. 活動を通して育みたい資質や能力 (複数選択可)

<input type="checkbox"/> 1. 批判的に考える力	<input type="checkbox"/> 2. 未来像を予測して計画を立てる力
<input type="checkbox"/> 3. 多面的, 総合的に考える力	<input checked="" type="checkbox"/> 4. コミュニケーションを行う力
<input checked="" type="checkbox"/> 5. 他者と協力する態度	<input checked="" type="checkbox"/> 6. つながりを尊重する態度
<input checked="" type="checkbox"/> 7. 進んで参加する態度	
<input type="checkbox"/> 8. その他(自由記入)	

ウ. 活動時間 (複数選択可)

<input type="checkbox"/> 1. 教科の時間	<input checked="" type="checkbox"/> 2. 総合的な学習の時間
<input checked="" type="checkbox"/> 3. 特別活動等	<input type="checkbox"/> 4. クラブ活動
<input type="checkbox"/> 5. その他(自由記述)	

エ. 使用した教材 (書籍, ウェブサイト, パンフレットなど具体名)

「台湾—四百年の歴史と展望」(伊藤 潔) 「街道をゆく 40 台湾紀行」(司馬 遼太郎) 「人生の節目で読んでほしい短歌」(永田和宏) 「(歌集) 草色の手帳」(藤原勇次) 「第2次三次市総合計画」(広島県三次市) 「みよしブランド(認定品カタログ2016)」(三次市)
--

- ② ユネスコスクールとしての活動を各校の教育課程(指導計画)にどのように位置付けているか。指導内容を適切に定め, 指導方法の工夫改善に努めているか。(200~300字程度)

※チェック事項 1-2, 1-3 に対応

国際理解活動に関しては, グローバルスタディーを総合的な学習の時間に位置づけ, 中国語学習や台湾に係る歴史学習を取り入れました。 短歌大会に関しては, 総合的な学習の時間の中で, 全校生徒が月一度短歌を作成するなどして, 日頃の学習に短歌制作を取り入れ, 本大会はその成果を発表する機会としました。 地域課題探究活動は, 年間を通じて, 総合的な学習の時間に, 課題解決型の学習プロセスを重視した形で継続的に位置付け, 地方公共団体等, 外部と連携をしながら取組を深めました。
--

- ③ 学校全体で組織的かつ継続的に活動に取り組める体制や環境をつくるため, どのような取組を行っているか。(200字程度)

※チェック事項 1-4 に対応

「総合的な学習の時間運営委員会（推進委員，各学年主任，教育研究部，各担当者）」を定期的に関き，方針や年間計画，各取組の進捗状況の確認を随時行いました。国際理解活動に関しては，教育研究部内に複数の専任スタッフを位置づけ，校内における段取りに加え，対外的な折衝も日々精力的に実施しました。

- ④ ユネスコスクールとしての活動の質の向上のための学校活動の評価（内部/外部）の方法・具体的内容と，それによって明らかになった成果と課題。（200字程度）

※チェック事項 1-5 に対応

内部においては，「総合的な学習の時間運営委員会」を活動内容の検証の場とした。それに加え，「学校評価委員会」の場において，定期的に報告し，適宜アドバイスを頂きました。

国際交流，短歌大会，地域課題探究活動を継続できていることが成果と考えます。

- ⑤ ESD の推進拠点としての活動成果の発信方法・内容と，発信により得られた効果。（200字程度）

※チェック事項 2-2 に対応

本校の取組が一般の方に広く周知されるよう，事前に新聞社や地元ケーブルテレビ局等の報道機関に案内をすることで，新聞やケーブルテレビで紹介していただいています。それらを見た地元の中学校や商工会等から本校の取組をさらに詳しく知りたいために問合せ等がありました。

- ⑥ 学校以外の団体との協働・交流・ネットワーク形成（地域コミュニティ，大学，ESD活動支援センター，ESDコンソーシアムとの連携など）（200字程度）

※チェック事項 2-3 に対応

広島大学が主催するESDコンソーシアム研修会（幼稚園、小・中・高等学校等教員、大学生、大学院生，大学教員，ESDに関係するNGO等が対象）に複数のスタッフが参加し，情報や意見交換を積極的に行いました。さらに，その結果を学校に持ち帰り，校内にて共有し，自校の取組を見直す作業を行いました。

- ⑦ 国内外のユネスコスクールとの交流・ネットワーク形成（200字程度）

※チェック事項 2-4 に対応

県内ユネスコスクール他校と，管理職及び担当者双方のレベルによる日常的な情報交換を行いました。頻度や深まりの点において課題があり，今後取組方の改善を検討していきたいと考えています。

- ⑧ ユネスコスクールの活動による効果について、特筆すべき（特に強調したい）内容（例えば児童生徒，教員，カリキュラム・教授法，学校経営，地域・保護者との関係など様々な面でのポジティブな変化）（200字程度）
※チェック事項 2-5 に対応

学校創立 110 周年を記念して始まった三次高校全国短歌大会が，今年 10 年目を迎えました。同窓の歌人 中村憲吉 にちなんでの短歌大会ですが，毎年，全国から 10,000 首近い応募作品が集まる大会に育ち，今年度は約 7,300 人の小・中・高生から 12,000 首以上もの短歌が集まりました。本年度は，生徒主体で企画した記念シンポジウムも，関係者を招待し，盛大に行うことができました。

- (3) 平成 30 年度の活動計画（200～400字程度）

平成 31 年度から，本校は，「併設型の中高一貫校」に生まれ変わります。それを踏まえ，本校で育成する「資質・能力」については来年度から以下のように設定することとしました。

「知」： 知性，創造性，主体性

「徳」： 徳性，多様性への理解力，真理追究力

「体」： 体力，忍耐力，逞しさ

「志」： 高い志，協働性，チャレンジ精神

「美」： 美しい言葉・姿勢，豊かな情操，伝統への誇り

総合的な学習の時間においては，年間評価計画に基づいて，成果物や活動状況から，育成する「資質・能力」を評価することとしています。

これまでの活動を定着させるのみでなく，さらに深めて行くべく努力をまいります。